

藍住町 議会だより

第71号

平成24年11月25日

発行 藍住町議会

編集 議会だより編集委員会

徳島県板野郡藍住町奥野

字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>

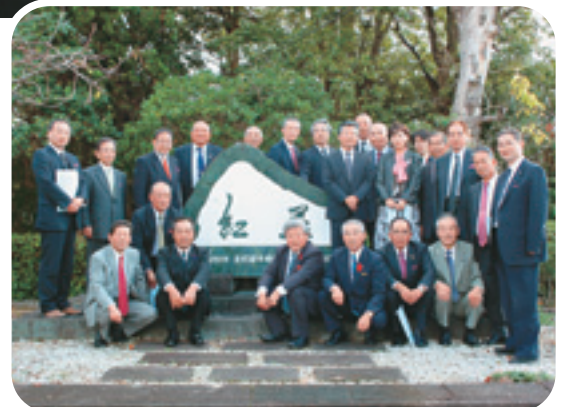
友好都市山形県河北町から田宮町長、
議会議員の皆さんが来町



藍染め体験をされる河北町議会議員の皆さん

目次

9月定例会	P. 2
平成23年度一般会計・特別会計決算認定	P. 4～5
一般質問 ～町政のここが聞きたい～	P. 6～10
常任委員会報告	P. 11～12
わたしの一言・議会のうごき	P. 14



「紅藍の碑」にて

9月定例会

9月議会定例会が9月6日から25日までの20日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。
一般質問では5人の議員が登壇し、町政について質問しました。

町長提案

- 平成23年度一般会計歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（介護サービス事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（水道事業）利益の処分及び歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成23年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定……………原案可決
- 平成24年度藍住町一般会計補正予算……………原案可決
- 平成24年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）補正予算……………原案可決
- 藍住町乳幼児等医療費助成条例の一部改正……………原案可決
「乳幼児等医療費」を「子どもはぐくみ医療費」に、「乳幼児等」を「子ども」に改める改正
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正……………原案可決
災害弔慰金の支給等に関する法律の一部改正に伴い、一定の条件のもと兄弟姉妹を支給対象とするよう条例の一部を改正
- 藍住町暴力団排除条例の制定……………原案可決
暴力団排除をより一層推進するため、施策等を規定した条例を制定
- 藍住町教育委員会委員任命の同意……………廣瀬浩美・岸本政典・筒井あけみ
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意……………住田義典

町長報告

- 平成23年度財政健全化判断比率の報告
- 平成23年度水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし
- 平成23年度下水道事業会計資金不足比率の報告
資金不足なし

議員提案

- 「緊急事態基本法」の早期制定を求める意見書……………原案可決
提出者 矢部秀行議員
提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・法務大臣・外務大臣・防衛大臣・内閣官房長官
- 外国資本による土地買収を制限する法整備を求める意見書……………原案可決
提出者 矢部秀行議員
提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・国土交通大臣・法務大臣・外務大臣

町からの主な報告

山形県河北町との交流

6月28日から3日間、ロマンのかけはし町民号として河北町を表敬訪問、あいずみ商工会納涼祭では、河北町の郷土料理である冷たい肉そばを提供していた。

8月4日には河北町で友好都市締結記念式典が開催され、河北町と友好都市を締結している宮城県石巻市とともに、災害相互応援協定を締結。10月には河北町議会の皆さんが、11月には河北町友好の翼町民号が来町される。

今後とも友好都市としての交流を深め、住民の安心、安全の施策にも生かしてまいりたい。

通学路の安全確保

危険と思われる64箇所を確認し、交差点マーク・横断歩道・路側帯などの白線の塗り直しや看板の設置等、今行える安全対策について点検を終えており、できるものから改善を行っていく。

特別養護老人ホーム 藍寿苑の運営検討

四国大学短期大学部の日開野博教授を委員長にお迎えし、これまで2回の検討委員会を開催した。

建設課の現場業務

関係職員による検討委員会を設置して協議を進め、8月末に民間委託の基本計画についてパブリックコメントを終えている。

三町合同企画展 及び国民文化祭

9月15日から17日の3日間、日本一の麻・岩島麻を産する群馬県の東吾妻町、高級麻布の産地・滋賀県の愛荘町との合同企画展を東吾妻町で開催し、藍のふるさとと藍住町から藍文化の魅力を紹介。また、国民文化祭でも藍フェスティバルを開催する。

国民文化祭では、勝瑞城館跡で鷹狩りの技術である放鷹術の実演等が披露される。また、戦国武将三好氏にゆかりのある大阪府内

の6市、徳島県内の3市が集結し、ポスターセッションや講演会、シンポジウム等も開催する。

藍の館整備

近年駐車場が不足気味であり、藍の館東側に用地を確保し、駐車場の整備を行っている。また、駐車場への進入路や周辺道路も拡幅し、通行しやすい道路に整備。手狭であった受付前についてもスペースを確保し、来館者が心地よく過ごせるよう改修工事を進めることとした。

新町民体育館

工事実施に当たっては、周辺住民への影響をできる限り少なくするよう配慮し、事故等のないよう充分注意を払いたい。

障害者の虐待防止

障害者虐待防止法の施行に伴い、障害者虐待の通報や届出の受理を行うため、休日・夜間にも対応できる障害者虐待防止センターを郡内各町とともに10月から



9月2日の避難訓練で実施した地震体験車(震度7まで体験可能)

願

1件の請願があり、賛成多数で採択されました。

●外国資本による土地買収を制限する法整備を求める意見書決議の請書

請願者

外国資本による土地買収を制限する法整備を求める徳島の会

代表

米田 末子

矢部 秀行 議員

請

※なお、この請願を意見書として提出することを議決しました。

設置する。

障害者虐待の未然防止や早期発見のために住民への啓発に努めるとともに、関係機関等との協力態勢の整備を図りたい。

備を図りたい。

8月29日、国から津波高、想定浸水区域、被害想定公表があった。

防災関係

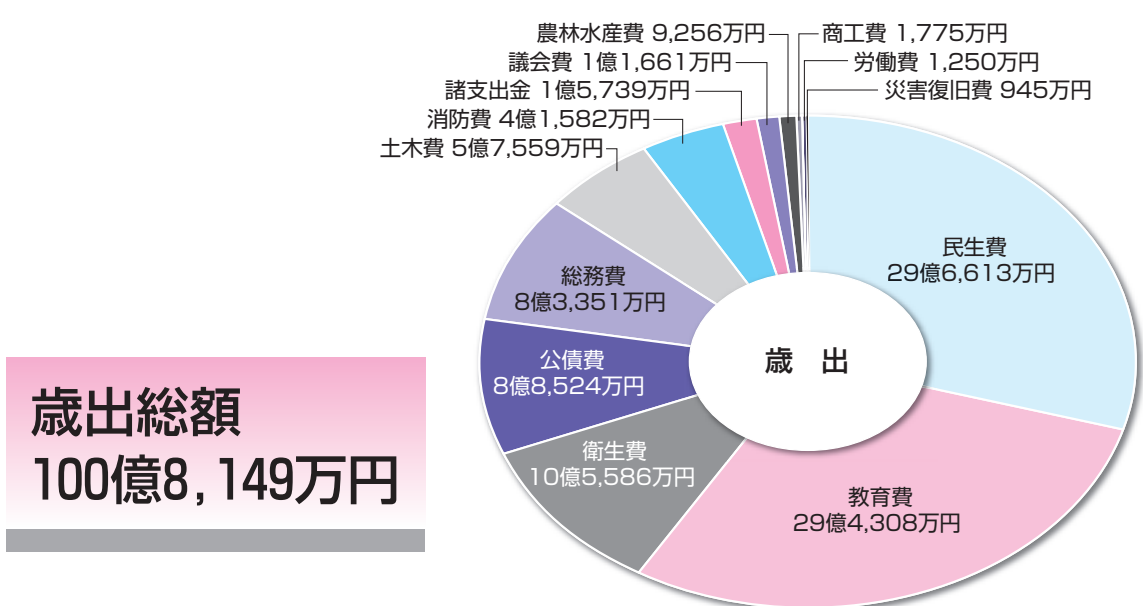
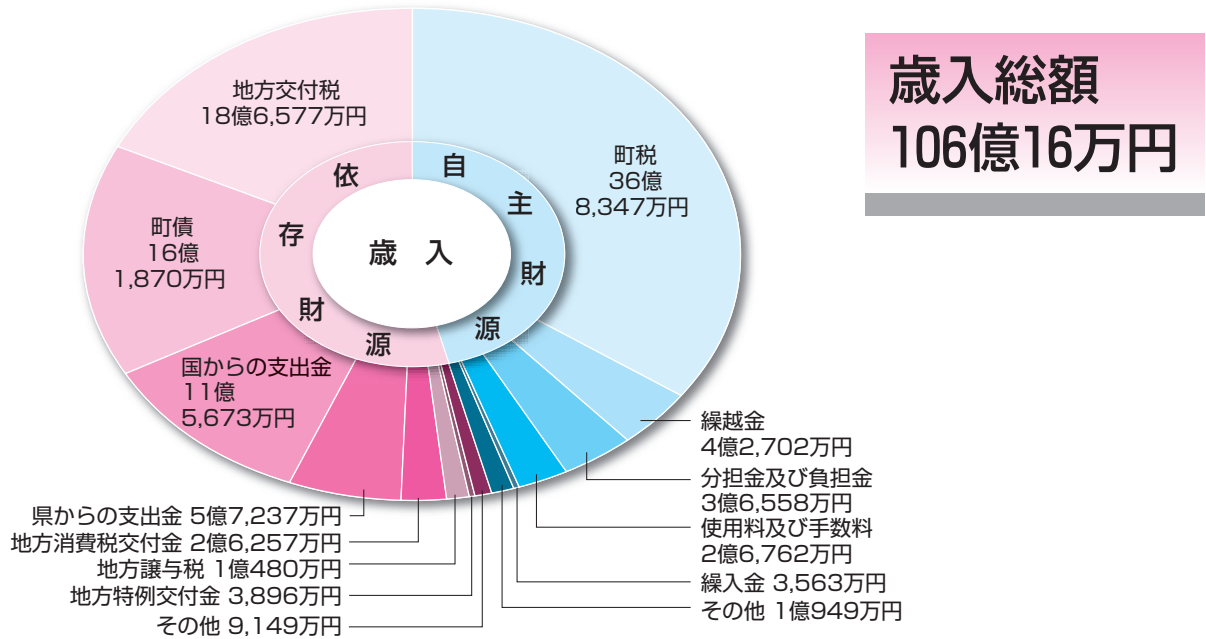
①避難訓練

9月2日、藍住北小学校を避難所とする住民の方を対象とした避難訓練や防災に関する各種体験を実施し、関係者を含め約350名が参加。避難路の確認や地震体験車、浸水プール、煙体験ハウス、心肺蘇生法等の体験、保存食の試食や救護所、給水タンク、仮設トイレ、非常電源の設置・展示等も行い、防災啓発に効果があったと感じている。

今後県により出される市町村ごとの被害想定を細かく分析しながら、地域防災計画や防災対策に反映させたい。

平成23年度決算認定

一般会計は実質収支額 2億6,879万円の黒字決算



歳入歳出差引額から、繰越明許費繰越額（24年度の特定事業への繰越額）を差し引いた実質収支額は2億6,879万円の黒字となりました。
 実質収支額の10%である2,680万円を財政調整基金（町の貯金）へ積立、残り2億4,199万円を24年度へ繰越しました。

★平成23年度決算の状況★

区 分		歳 入	歳 出	繰越明許費	実質収支額
一 般 会 計		106億16万円	100億8,149万円	2億4,988万円	2億6,879万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険 事 業	30億837万円	28億9,648万円	0円	1億1,188万円
	介 護 保 険 事 業	19億4,020万円	18億9,489万円	342万円	4,189万円
	介 護 サ ー ビ ス 事 業	1,019万円	1,019万円	0円	0円
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業	2億453万円	1億9,936万円	0円	517万円
	藍 寿 苑 介 護 サ ー ビ ス 事 業	2億8,261万円	2億3,944万円	0円	4,317万円
	下 水 道 事 業	3億5,100万円	3億1,649万円	910万円	2,541万円

区 分		収 入 総 額	支 出 総 額	収益的収支純利益（消費税調整後） および資本的収支不足額
水 道 事 業	収益的収支	5億438万円	4億2,512万円	7,541万円
	資本的収支	756万円	1億1,680万円	△1億924万円

※水道事業の資本的収支不足額については、内部留保資金等で全額補填しました

★健全化判断比率★

指 標	平成23年度	早期健全化基準※1	備 考
①実 質 赤 字 比 率※2	－%	14.34%	赤字なし
②連 結 実 質 赤 字 比 率※3	－%	19.34%	赤字なし
③実 質 公 債 費 比 率※4	7.3%	25.0%	基準以下
④将 来 負 担 比 率※5	3.0%	350.0%	基準以下

- ※1 早期健全化基準を一つでも超えると「財政健全化計画」を定めなければならない
- ※2 一般会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
- ※3 水道など公営企業を含む全会計に生じている赤字の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
- ※4 借入金（町債）の返済額（公債費）の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの
- ※5 借入金（町債）などの現在抱えている負債の大きさを標準財政規模に対する割合で表したもの

平成24年度一般会計補正予算

歳入歳出
それぞれ **3億1,500万円増額**

予算
総額 **97億2,000万円**

～主な補正の内容（1万円未満切り捨て）～

総 務 費

- ◇交通安全対策費 200万円
- ◇危機管理対策費 586万円

民 生 費

- ◇障害者自立支援給付費扶助費 9,600万円

衛 生 費

- ◇ポリオ予防接種費用 811万円

農 林 水 産 費

- ◇一般排水路改良費 700万円

土 木 費

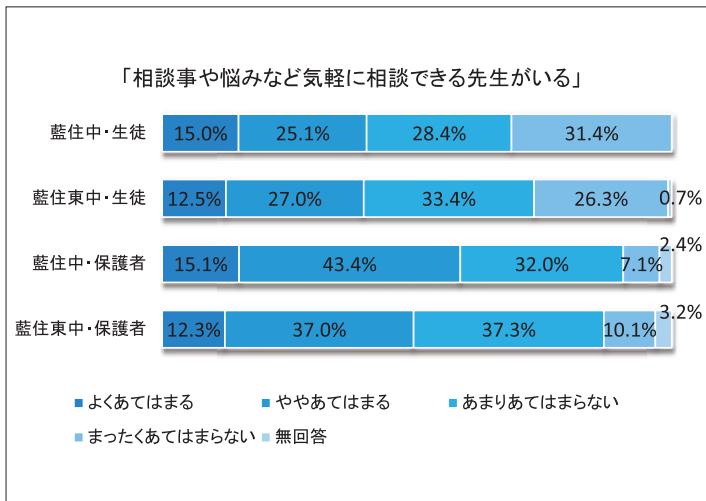
- ◇道路改良費 5,447万円

教 育 費

- ◇新町民体育館追加工事費 6,978万円

町政のここが聞きたい

一般質問

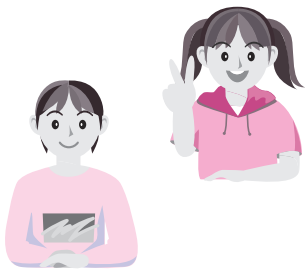


2011年藍住中学校・藍住東中学校の学校評価アンケートより

子ども間のいじめ問題について

いじめ防止の合言葉は「アンテナは高く、センサーは鋭く、行動は果敢に」

問 滋賀県大津市でのいじめ自殺が社会問題化して以来いじめの現状が明らかになり、生徒の90%がいじめ、いじめられる関係、いづれでも、どこでも、どの生徒にも起こり得る問題と言われ、その定義は「一定の人間関係のある者から、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより精神的な苦痛を感じている状態。」と示され、本町の子ども達も例外ではありません。実態について尋ねます。



また、2011年の藍住中・東中の学校評価アンケートから先生方はいじめや暴力問題に取り組んでいるとの結果ですが、生徒の60%、保護者の40%が相談できる先生がいないと答えています。この温度差への対応、そして、将来ある子ども達の命を脅かし、精神的心の傷となるいじめ根絶・防止に向けての早期対策を尋ねます。



西岡 恵子 議員

答 本年度、現在に至るまでに町内小中学校で発生したいじめ件数は29件であった。
児童・生徒が気軽に相談できるよう家庭や地域と連携して教職員の多忙感を少しでも解消し、もっと児童・生徒と向かい合えるような環境を作ることが必要であると考えます。
いじめ防止策として、全教職員での情報共有化・校内研修による教職員のいじめ防止スキルの向上・保護者との情報交換・スクールカウンセラーとの連携強化・生徒向けケータイ安全教室・中学校入学説明会での保護者向け情報モラル教室等を実施している。



認知症高齢者支援について

本町の支援事業をより一層進めたい

問 総務省推計によると65歳以上の人口は3074万人、総人口に占める割合は24・1%で過去最高、これに伴い認知症も増加傾向。
本町においても確実に高齢者数は増加し、平成26年には高齢化率20・6%と予測、認知症高齢者も増加すると思われまます。高齢者が住み慣れた地域で暮らせる町づくりは重要。現状とその取組を尋ねます。

答 平成23年度介護認定者のうち72・4%が認知症を発生しており、過去3年間の認知症高齢者の増加率平均は約7・2%である。
認知症予防として、脳の健康教室や認知症に関する講演会等の開催、相談窓口である地域包括支援センターと関係機関との連携、認知症サポーター養成講座の開催、位置検索システム専用端末機による徘徊高齢者の早期発見と安全確保の支援等の取組を行っている。今後も認知症に関する正しい知識の普及啓発や支援事業を進めたい。

町政のここが聞きたい

一般質問



役場北の通学路に設置されたのぼり旗

通学路の安全対策

学校から危険・要注意と報告のあった64箇所すべての現場を回り、対応策を協議した

問 ゆめタウン等の大型店進出に伴い、町内の交通量が多くなり、車との接触事故・人身事故が増えている現状である。安全対策として、ドライバーの方がよく見えるように、横断歩道の再塗装・歩道のカラー舗装・道路に「人」のような減速表示塗装・通学路表示・大きな用水がある通学路にはガードパイプの設置・狭い所では朝の通学時間帯は交通規制・通学路に横断歩道の表示がない矢上宇安任地区の濱崎さん宅前には、表示と看板を設置するな

ど、共通の要望事項に対して前向きに検討・対処を。

答 早急に対応できるものとして、横断歩道・停止線等の塗り直しを板野警察署や県に依頼する、町では交差点マーク・センターライン・路側帯等の白線を塗り直ししたり新設することとしている。また、「通学路子どもを事故から守ろう」と表示したのぼり旗を100枚製作し、各小学校に配付している。

御指摘の安任地区交差点の横断歩道設置については、付近住民ともよく事情を確認し、板野警察署とも協議、情報を共有しながら公安委員会に要望していきたいと考えている。



永濱 茂樹 議員

町内各交差点・道路停止線・表示板見直し

関係者と協議したい

問 笠木東野団地から町道江ノ口新居須線への出入口、北停止線確保については、用地の方に御協力いただいたので、東野団地の方がスムーズに出入りできるよう、早急に安全対策の看板設置を。

答 進入ができなくなっている笠木東野団地から町道江ノ口新居須線の交差点については、土地所有者、板野警察署等にもよく協議をしながら進めてまいりたい。

役場北・通学自転車の安全対策について

安全確保に努めたい

問 西から県道松・藍住線の信号交差点へ来ても、北側の建物は個人の所有地で待機場所がないために、カワカミ不動産の周囲の西辺りから通学自転車が右折通学している現況である。通学自転車が反対車線に移る数箇所に、安全対策として

答 役場北側の中学生の自転車通行における安全対策については、板野警察署及び藍住中学校とも協議しながら、安全が確保できるよう努めてまいりたい。

その他の質問

- ◆ 暫定運用中の県道福祉センター出入口、県へ早期改良要請を
- ◆ 中央保育所西歩道の安全対策を
- ◆ 県道松藍住線、寿司松さんの西側交差点の改良対策を

商工業者の現状と農業後継者育成について

商工会や各種団体の行う事業に賛同、参画、支援していきたい

問 ①町内商工業者は長引く不況や大手企業の出店により大打撃を受け、過去7年間で商工会員だけで80件近くが廃業している。ゆめタウンオーブンから10か月余りたち、町内商業者の現状と商工業者活性化策は。

②町内商工業者支援のために、町発注に町内業者の物産納入や工事等の比率とその取組についてはどうか。

③農業振興農業後継者育成について、今年度からの新規事業で地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を将来にわたって確保するための展望を定めた、農地プランを策定し、新規就農者への支援や農地集積への支援を実施するとの事であるが、その取組は。



町内商業者の活性化を図るため立ち上げられた、商工会の「藍住町商業まちづくり委員会」の様子



小川 幸英 議員

①については、件数では65.6%、金額では24.4%。町内業者で対応できるものはできる限り町内業者に発注したい。

②広報等で国の青年就農給付金制度の募集を行い、現在1名が認定される予定。認定後は最長で5年間、年間150万円の給付が受けられる。今後も鳴門藍住農業支援センターと連携を図り、青年就農者増加に努めたい。

不登校対策について

地域連携型の不登校対策を進めており、徐々に効果も出始めている

問 県教委の公立学校調査によると、いじめを把握した学校は31.3%にのぼり、特に中学校は53.5%と半数を超している。把握件数は小学校141件、中学校

答 月1回の不登校児童生徒対応連絡協議会を開催し、一人一人について個別対応を協議している。現在、町内小中学校で不登校・不登校傾向にある児童・生徒は31人であるが、昨年の調査結果では、本町でいじめを原因とした不登校は現時点では少ない。今後も関係機関と連携し、一人一人に応じた対応策を構築し、不登校状況の解消に努めたい。

その他の質問

◆町道東中須団地1号線の拡張工事について

193件、合計334件。

いじめがきっかけとなった不登校は中学校で21件、また、小学校の不登校は133人、中学校が599人となっている。近年いじめが悪質化・陰湿化していると言われており、その被害者が不登校になっている。今年度の実情とその取組は。

町政のここが聞きたい

一般質問



環境ボランティアの方々による町内清掃

地域の生活環境を優先に

排水路の基本計画は 策定でき次第報告したい

問 ①町内の排水路は大雨が降れば道路が冠水、家まで浸水する被害が起こっている。今後の改修計画は。
②建設課の現業は道路の改修、舗装、排水路など暮らしてに欠かせない仕事をしており、民間委託は住民サービスへの低下につながるのではないか。
③町内の雑草と犬のふんのポイ捨ても町民から苦情が出ているが。

答 ①昨年実施した現地調査をもとに安全確保の程度等を検討し、基本計画を策定したい。

②委託先業者には町の現場職員事務所に常駐していただく計画で、災害時などはこれまでと同様に迅速な対応ができるものと考えている。

③職員が年2回町内を巡回調査し、除草が必要な場合は所有者へ文書で依頼。犬のふん害防止看板の無料配付や、広報や回覧文書等で飼い主のマナー向上を啓発している。



林 茂 議員

ごみの分別と減量が 進んでいる成果は

今後も啓発に努めたい

介護保険は町民の声を 受け止めて

国・県の動向に注視し、 介護保険事業を進めたい

問 ①ごみ袋は手提げ部分を作ったので便利になったという声と、袋が小さく弱くなったという声を聞くが。
②一般家庭からごみ量が大きく減っているが、町の評価は。
③ゆめタウンのごみ及びびし尿収集の増加量と町の対応は。

答 ①容量は変更前と同じ。
②住民の方々のリサイクルやごみ減量に対する意識が非常に高いためと思われる。
③ごみは月平均45〜46トン。立入検査を行い、減量申入れをした。し尿は本年度4月に120トンで油分が多かったため搬入を中止し改善指導を行った。7月末から再開し、8月100トン、9月80トンの予定。

問 ①4月から介護の生活援助が45分に短縮され、洗濯や調理は15分でするのは無理と悲鳴の声が上がっている。わずかな年金で生活する高齢者は、利用料の1割負担、保険料の支払いや生活のために、デイサービスの回数を減らし、通院も控えるようになったと聞かれます。
②事業所に入る介護報酬も減る中、利用者やヘルパーに負担にならないよう大変苦労している。事業所やへ

答 ①包括支援センターへ数件の苦情があったが、各サービス事業所の詳細な説明により御理解いただき、現在はスムーズな利用がされていると聞いています。
②介護報酬改定から約6か月が経過し、サービス事業所ごとに創意工夫され、利用者の利便が図られていると思っております。

町政のここが聞きたい

一般質問

大震災予測に対する藍住町の対応策について

これから出される県の詳細な被害想定に
対応した対策を立ててまいりたい

問 ①内閣府は8月29日、将来発生する大震災の想定を発表しました。その予測は、南海トラフ沿いで巨大地震が発生した場合、徳島県で最大3万1000人、全国で32万3000人が死亡するとの予想であります。それは、最大級の地震と津波が起こったケースであります。

この公表内容を分析すると、藍住町の被害は、地震によるものであり、津波による被害は、外れていません。これらのことから、地震の初期段階に発生する火災に全力であたり、倒壊家屋の被災者の救済ができれば、最初の危険な段階を切り抜けることができます。

次に予測されるものは、沿岸地域の津波を受けた被災者の避難所、野外病院としての役割を担います。藍住町の防災想定シナリオは、いかなるものとなるのか、また、今後の防災対策として整備していくものについてお尋ねします。

②阪神淡路大震災では、地震の初期には、小さな火災でありましたが、消火することは困難を極め、猛火が

町全体を覆ってしまう大火災となりました。まだがれきの下で生存していた多くの命は、猛火の犠牲となりました。この対策として、どのような方法を取られるのかお尋ねします。

答 ①今回の中央防災会議の公表内容では、津波高や被害予測の具体的場所等が不明であり、今後県から公表される市町村ごとの被害予測により対策を進めたい。

災害発生後は救助はもとより被災者への対策、ライフラインの確保、避難所の運営等を行っていくことから、住民の避難場所の指定や避難所となる公共施設の耐震化、保存食や毛布などの備蓄品、資機材の確保等



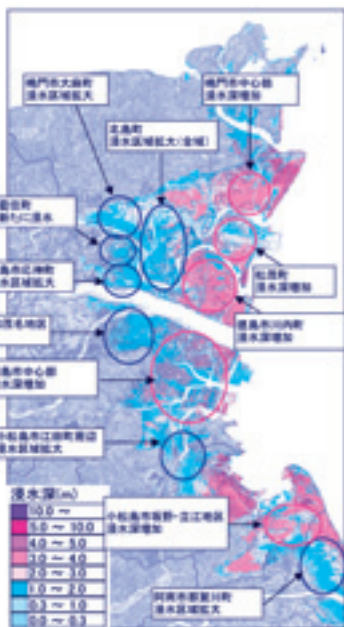
濱 眞吉 議員

を進めているところである。また、被害が最小限となるよう住民の方への防災啓発の推進を図っていききたい。

津波被害を受ける沿岸地域の後方支援については、基本的には県や国に対応していただくこと、また、広域での相互応援協定による対応となると考える。

②家屋の耐震化や家具等の転倒防止対策とともに、火災の原因となる石油ストーブやガスコンロ等の地震対策について、防災講座や防災訓練などの場で周知に努めたい。

また、自主防災組織等の結成・促進や活性化、その他防災訓練や火災訓練などによる防火知識の普及、初期消火能力の向上を図っていききたい。



10月31日に徳島県が発表した津波の浸水想定



8月29日に内閣府が発表した南海トラフの巨大地震に関する津波の浸水分布(被害が最大となるケース)

※詳しくは徳島県のホームページを御覧ください。

常任委員会報告

9月定例会の議案については、その審査を各常任委員会に付託しました。各委員会において審査した結果、それぞれ全会一致で原案可決され、最終日に各委員長から審査結果の報告がありました。主な質疑・意見については次のとおりです。

総務文教常任委員会

平成23年度

一般会計決算

住宅新築資金貸付事業

問 収入未済額4106万8千円の中身は。

答 未納分の累計で、現在返済中の方が未収になれば、その分加算されている。

問 未収の対策は。

答 納付書等を送付しているが、大部分は既に亡くなった方、自己破産した方、生活保護受給者で、回収は厳しい。

【意見】

回収見込みのない分については、処理を考えるべきではないか。

災害用品備蓄事業

問 各学校等には何食分の保存食を用意しているか。

答 現在は役場に保管。各学校には備蓄倉庫が設置でき次第、備蓄したい。でき

るだけ避難所の収容人数に合うよう振り分けたいが、避難所の収容人数が多いことや賞味期限もあり、直ちにとというのは難しい。

問 道路が液状化した場合の運搬対策は立てているか。

答 公用車で運ぶようになると思うが、特別な対策はできていない。

問 保存食の賞味期限に対する対策は考えているか。

答 賞味期限前に学校や訓練等で試食として配付している。順番に賞味期限が来るよう購入したい。

災害応急用

井戸水質検査業務

問 検査済みの井戸と分かるような表示はしているか。

答 この検査は水質とくみ取り可否の検査で、飲料水に適するものはなかった。周知については検討したい。

藍住中学校の駐輪場

問 駐輪場工事に1億5859万円をかける必要があるのか。

答 学校側から、駐輪場から傘をささずに教室まで行けるようにして欲しいとの要望があり、1千㎡以上の屋根が必要となったが、非常に圧迫感があるため高さ

を約4㎡にした。また、すぐ隣が普通教室のため、比較的雨の音がせず、耐久性に優れているハニカムパネルを採用している。

問 吹き降りは検討しなかったのか。

答 入射角を計算に入れ、屋根を自転車から外へ3㎡出している。今までの駐輪場よりは比較的ぬれにくいと計算している。

学校支援事業

問 藍住中学校だけに地域の支援員2名を配置しているのはなぜか。

答 東中学校より藍住中学校の方が生徒数が多いことと、暴力行為等も藍住中学校の方が多いため重点的に

進めている。他の学校等も藍住町対策監が定期的に巡回している。

平成24年度

一般会計補正予算

新町民体育館 建築事業費

問 追加工事費6978万円は、当初予算時にはなかった話ではないか。

答 当初予算は15億円だったが、体育関係者と協議する中で体育館面積を600㎡大きくすることになり、約17億円必要となったため、外構と舞台装置関係等を17億円から除外し、15億円の予算に合わせて入札した。この除外した分を追加工事として新たに契約をする。

集会所設計委託料

問 建設場所はどこか。

答 土砂仮置場敷地の北西の隅と考えている。

問 建設しないと断ったがするようになったのか。

答 現在の自治会長に確認をしたところ必要とのことであり、進めていきたい。

厚生常任委員会

平成23年度

一般会計決算

指定ごみ袋製造・納入業務

問 約1700万円が町の収入となっているが、ごみ袋代をもっと安くできないかという話が出てくるのではないか。

答 収入は西クリンステーションの運営費等に充てている。

問 この3年間の補助金の推移と、これからの取組姿勢は。

答 電気式の実績は平成20年度16件、21年度10件、22年度9件。利用者拡大のため平成23年4月より補助額を2万円から3万円にした。今後さらに啓発活動を進めたい。

平成23年度

国民健康保険事業決算

国民健康保険税

問 平成19年度と23年度を比べると、医療費は上がっているのに1世帯当たり1人当たりの保険料額が下がっている理由は何か。

答 平成20年度からは後期高齢者医療制度の方で75歳以上の方の保険料を算定しているためである。

滞納問題

問 滞納率はいくらか。

答 平成23年度現年度分の滞納率は6・12%。

問 滞納率はいくらか。

答 期間や金額等ではない、ある程度財産があれば差押えを進めており、個々の状況を判断しながら行っている。

出産育児一時金

問 支給した人数と1人当たりの金額はいくらか。

答 41名分で1人当たり39万円または42万円である。

平成23年度

介護保険事業決算

問 介護認定者のうちサービスを受けている人の割合は88・04%であるが、介護支援が必要なのに認定したということにはならないか。

答 デイサービス等を勧められてもやはり家族の介護を受けたいという方や、1割の自己負担が発生してしまうため、サービスを受けていない方もいるのではないかと思います。

問 認定時には家族の状況を把握しないのか。

答 家族状況は勘案せず、本人の状態で判定する。

平成23年度藍寿苑

介護サービス事業決算

問 平成24年度に待機者が急激に増えた理由は何か。

答 退所者が少ない上に、希望者が多いためである。

問 特別養護老人ホームには入所期限はないのか。

建設産業常任委員会

平成23年度

一般会計決算

一般排水路改良事業

問 浚渫作業は平成25年4月から予定している建設直営業務民間委託で委託する業務になるのか。

答 要介護1以上であれば入所可能であり、期限はない。

問 藍寿苑入所者のうち、町外の方はいるか。

答 特養は町内・町外を問わず入所を受ける施設であり、24名の方が藍住町外から入所されている。

問 決算報告書を見ると、運営は安定しているように思われるが、今後どのような状況になるか。

答 正規職員の割合が35%を切っていることや、建物の老朽化によりその修理・維持に費用がかさみ、抜本的な修繕ができていないことにより経費が抑えられている。

委託業務に入る。橋梁点検事業

問 設計費用が当初予算500万円より下がった理由は何か。

答 競争入札により下がった。
【意見】

愛媛大学でコストが安くなる工法を開発したというNHK放送があったので参考にしようか。

一般町道新設改良事業

問 繰越総額の内容は。

答 名田橋河川敷進入路改良工事と正法寺川左岸道路改良工事あわせて1700万円。名田橋河川敷進入路改良工事は24年度当初に発注しており、現在は完了している。

平成23年度

水道事業決算

問 損益計算書のうちの特別利益・過年度損益修正益とはどのような内容か。

答 前年度に退職手当引当金を納め過ぎていた分の払

戻である。

問 水道料金に未納が発生した場合の対処要領は。

答 督促、催告書を送付し、納付がない場合は訪問して徴収。それでも未納の場合は給水停止の通知を送付している。実際に給水停止してから納付する方もいる。

問 大口未納者への対応は。

答 給水停止で対応している。今後也十分気を付けて徴収していきたい。

問 水道使用料欠損処分金とはどのような内容か。

答 行方不明、倒産および自己破産した方について不能欠損処理をしている。

なお、徴収率は平成23年度分の徴収率は8月末現在、99・65%である。

平成23年度

下水道事業決算

問 赤字になっているが、やっつけているのか。

答 歳入と処理費及び終末処理場維持経費としての県への負担金との差は赤字になっている。下水道の加入率が50%強になれば黒字が予想され、その時期は平成31、32年くらいになると思われる。

議員研修報告

板野郡町議会議員研修会

10月17日、本町「町民シアター」において開催され、板野郡内の町議会議員約70名が参加しました。

〈講演〉

★関西学院大学教授
室崎 益輝 氏
「東日本大震災に学ぶ
新しい防災の考え方」



会長あいさつをする江西議長

四国地区町村議会議長会研修会

11月6日、高松市「アルファあなぶきホール」において開催され、本町議会からは12名の議員が参加しました。

〈講演〉

★同志社大学大学院教授
新川 達郎 氏
「自治体議会の災害対応」
★アートディレクター
北川フラム 氏
「瀬戸内国際芸術祭
～海の復権～」




編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。

投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

**四国地区町村
議会議長会表彰**



森 志郎 議員

11月6日、四国地区町村議会議長会研修会において、町村議会議長として19年以上在職し、議長、副議長、常任委員会委員長、監査委員等を歴任されるなど功労のあったものとして、次の方が表彰されました。

各種功労者表彰



古川 義夫 議員



永濱 茂樹 議員

11月3日、藍住町各種功労者表彰式が行われ、町議会議員として通算して12年以上在職し、議長、副議長、常任委員会委員長等を歴任されるなど功労のあったものとして、次の方々が表彰されました。

友好都市
山形県河北町
から
行政視察来町



あいさつされる河北町議会庄司議長

10月23日、河北町から田宮町長、議会議員一行が来町されました。行政視察では、本町の大型ショッピングセンターに関する開発の経過について説明を受けた後、藍の館を見学、藍染めを体験され、ゆめタウン徳島を現場視察されました。



ゆめタウン徳島の現場視察

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

定例会案内

次の定例会は12月です。
次号は2月に発行します。
～お問い合わせ～
議会事務局 ☎637-3127

わたしの一言

徳命 近藤 久之さん

「卒業記念樹は大切に」

藍住中学校の駐輪場西側に2代目ヒマラヤシーダーが再植樹されている。昭和33年3月藍住南中学校卒業時「この木の様に逞しく大きくなり、人に後ろ指をさされないような人間になります。」と誓い巣立って行ったが、この卒業記念樹は数奇な運命を辿った。藍住南中学校庭より有線放送事務所入口へ～議会棟建築のため東保育所へ～藍住南小学校へ～鳴門分譲ビルへ～藍住中学校へ。平成16年9月、台風16号で倒壊したとの事で町が卒業生に案内もなく伐採。無念！古来「古木は語り、名木は旅する。駄木は切られる。」と言われるが、名木は町関係者の御理解と御助力により再植樹された。東日本大震災で残った奇跡の一本松があるが、振り返って藍住中学校は、初代徳元町長時代に建てた鉄筋コンクリート造りの校舎は何一つ残っていない。残っているのは西側に5本、東側に5本の松と藍住町木である「くすの木」と蘇鉄のみである。校舎は寿命があるが、樹木は生徒達をやさしく見守り送り出している。幼、小、中学校とも将来藍住町を背負う人達が育っている。「蛍の灯積む白雪」とは樹木の事であり、思い出残る校庭木は大切にしてほしい。古木になれ、校庭木。



卒業生の強い意志を継ぎ卒業50年を記念して再植樹、旅をした名木2代目ヒマラヤシーダー

議会のうごき

8月

- 4日 友好都市交流記念事業（河北町）
- 8日 新町民体育館安全祈願祭
藍住町民生委員推薦会
- 9日 徳島県後期高齢者医療広域連合議会定例会（徳島市）
徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合議会議員公務（徳島市）
- 10日 行政課題研究会（徳島市）
- 21日 資格審査特別委員会
第十堰対策意見交換会
第十堰対策促進期成同盟会
通常総会（徳島市）
- 27日 板野郡町議会議長会定例会
県・町事業意見交換会
議会運営委員会
藍住町農業振興地域整備促進協議会
- 28日 9月議会定例会開会
議会全員協議会
資格審査特別委員会
議会運営委員会
厚生常任委員会
建設産業常任委員会
総務文教常任委員会
敬老のつどい
- 7日 9月議会定例会一般質問
- 10日 9月議会定例会閉会
- 17日 資格審査特別委員会
- 18日 9月議会定例会閉会
- 25日 資格審査特別委員会

10月

- 1日 なくせじん肺キャラバン要請行動来庁
- 6日 北幼・北小運動会
- 7日 東幼・東小運動会
- 17日 板野郡町議会議員研修会
身体障害者ふれあい大会
- 21日 河北町議会来町
- 23日 河北町議会厚生経済常任委員会行政視察来町
- 24日 福祉・健康づくりの町フェスティバル
- 27日 資格審査特別委員会
板野東部消防組合議会議員臨時会
- 29日 26日 町議会議事務局長会
27日 四国四県町村長・議長大会（松山市）
- 29日 南幼・南小運動会



国民文化祭「勝瑞フェスティバル」で実演された放鷹術

編集後記

東日本大震災・福島原発事故より1年半、復興への道のりは未だ厳しく、さらに領土や領海の外交問題も急浮上。問題山積みのこの国を目の当たりにしています。本町9月議会では、社会問題化している子ども間のいじめや防災対策についても議論が交わされました。

このような閉塞感のなか、山中大都大学教授が開発した「人工多能性幹細胞（iPS細胞）」のノーベル医学生理学賞の受賞は日本の快挙。傷ついたり失われたりした体の機能を回復させる再生医療や新薬開発ほか、夢の万能細胞へのさらなる研究を期待し、実用化を待ち望むところです。

議会だより編集委員会

- | | |
|------|--------|
| 委員長 | 矢部 秀行 |
| 副委員長 | 東 條 義和 |
| 委員 | 西 岡 恵子 |
| 委員 | 永 濱 茂樹 |
| 委員 | 森 志 郎 |